

能代市消防団能代第12分団

消防団の技術を競う県大会で初優勝。強さの秘けつは日ごろの訓練と地域住民のアドバイスです

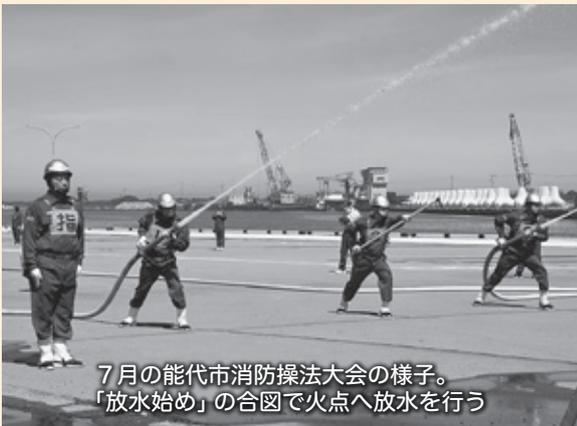
●強みのスピードを生かして

常盤地区に拠点を置く消防団です。団員は74人。火災発生時の消火・救助活動に加え、放水の技術を競う消防操法大会への出場を目標に掲げて訓練を行っています。

市大会、郡市大会を勝ち進んで臨んだ第59回秋田県消防操法大会（8月20日、由利本荘市）。ポンプ車操法の部で、初めて優勝することができました。県内各支部から7つの消



前列左から飯坂保博分団長、幸坂剛副分団長、大倉俊文班長、後列左から齊藤穂高班長、須藤清也団員、幸坂義明団員



7月の能代市消防操法大会の様子。「放水始め」の合図で火点へ放水を行う

防団が出場。1チーム、指揮者、1番員、2番員、3番員、補助員の5人で構成され、ポンプ車につないだホースで放水し、目標の火点(的)を倒すまでの速さと正確さを競います。私たちの強みの一つがスピードです。きれいで正確な動作を意識しながら、火点に向かう移動は全力疾走。第1線、第2線ともに目標の基準タイムにも収めることができました。さらに今回は、齊藤穂高班長が優秀



市大会、郡市大会に次いで県大会でも優秀選手に選ばれた齊藤班長

選手賞を獲得。また、幸坂剛副分団長が選手宣誓の大役を務めました。

●大会がない年も欠かさず練習

大会には10年間同じメンバーで臨んでいます。年齢はばらばらですがお互いに遠慮なく意見を言い合える仲です。

新型コロナウイルスの影響で大会がなかった令和2、3年も例年どおり大会1カ月ほど前から練習しました。今年も仕事終わりに集まって流れや動作を確認。地域の方も見に来てくれて「ここをこうしたらどうか」と積極的にアドバイスをくれました。指摘を受けた部分を直すと不思議とタイムが上がるんです。今回の優勝は、指導してくださった地域の皆さんの力も大きいと思います。これからの「強い12分団」の名に恥じないよう、連覇を目指して訓練に励んでいきます。

わたしの 押し本

読んでみて!

二ツ井中学校2年
佐藤 瑠華 さん
「かがみの孤城」



著者：辻村深月
出版年：2017年
出版者：ポプラ社
市立図書館：所蔵あり

鏡の中の世界!

ここは自分の部屋の鏡が強烈な光を放っていることに気が付いた。その鏡に触れると鏡の中に手が吸い込まれていく。鏡の中には「シンデレラ城」のような大きいお城が、そして目の前には、狼のお面を付けドレスを着た女の子が待っていた。

●ここがおすすめ!

鏡の中には、こころも含め7人の子どもがいます。7人の共通点を探したり、お城の秘密を探したりと、読み手の方も考えることができ、自分も本の中にいるようで面白いです。

問合せ 生涯学習・スポーツ振興課

☎73・52885